



— 紀元祭・尺八奉奏 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

令和4年3月20日

第 83 号

発行所

阿蘇神社社務所
多良見町化屋862
☎ 0957-43-5235

不易流行

阿蘇神社
宮司 大島 大明

コロナ禍で迎えた二度目のお正月。ワクチン接種が進み感染者数も全国的に減少してきたこともあり、正月三が日は多くの参拝者を迎えることが出来ました。

然し乍ら一月十日を過ぎる頃には感染者数が急増、県下全域に「まん延防止等重点措置」が適用される事態となりました。

三度目のワクチン接種も始まり、いずれは落ち着くものと思つていますが、中止続きの行事が再開出

来るのは何時になるのでしょうか。昭和から平成になり冠婚葬祭などの伝統行事の在り方も変化してきました。令和になるとコロナ禍が加わり、儀礼や儀式は更に様変わりしているようです。

伝統を重んじる人にとっては淋しいことですが、昔ながらの大元(不易)を大切にしながら、時代の流れに従つて新しいもの(流行)が取り入られることは、現在の社会では必然的なことなのでしょう。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

恒例 令和四年節分祭 終了!!

諫早市の迎春行事の一つと称される節分祭が、去る二月三日午後五時より斎行されました。

例年ですと町内外より多くの人が一年間の福を求めて参拝し、阿蘇神社の最も賑わう祭礼日です。然し乍ら今年も、コロナの感染拡大に伴い、舞台を組んでの豆撒き行事が中止となり、淋しい節分になりました。

当初は規模を縮小して豆撒きを実施する予定でしたが、昨年末より全国的にコロナの感染が急激に拡大し、長崎県でも陽性者が急増し、豆撒きを中止と決定しました。

代・協賛商社代表者が参列して祭儀が執り行われました。節分祭は本来春を迎える感謝と一年間の開運招福を祈念する「まつり」ですが、コロナ禍の今年も「悪疫退散・コロナ終息」を祈念する「まつり」として行われました。

祭典には神社総代二名と節分祭協賛商社の代表者が袴を着けて参列、恒例の「豆打ちの儀」では宮司と袴姿の三名が、「悪疫退散・コロナ終息」を念じながら豆打ちを行いました。最後に玉串奉奠をして節分祭を終了しました。

火焼神事は旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手等を焼き納める神事で、午後五時半過ぎより、境内で行われました。

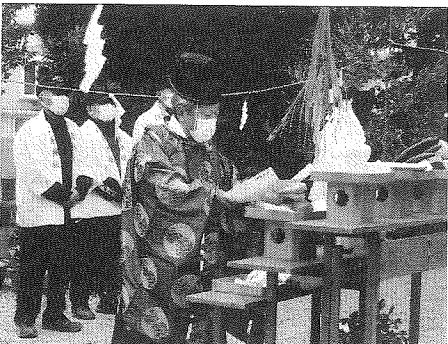
風も無く穏やかな節分の夜、参

拝者は、神前に拝礼をした後「福豆」をいたたき、火焼神事の赤々と燃える火に体を温めています。

立ち上る炎はお焚き上げする神様

の御加護です。温かい神様の御加護をより多くの人に受けていただきたいとの想いでした。

通常なら境内には商工会の青年部・女子部の出店が並び、仮設舞台からの年男・年女による豆撒き、神社総代の餅撒きが行われ、多くの人出で賑やかな節分の夜であつたはず、誠に残念至極です。



-火焼神事・祝詞奏上-



-火焼神事・お焚き上げ-



-豆打ちの儀-

節分祭を実施するに当たり、多くご支援を賜りました。コロナ禍のため境内に舞台を組んでの「豆撒き行事」は中止になりましたが、火焼神事などその他は予定のとおり実施いたしました。

御協賛いただきました御芳名を記し御札を申し上げます。

△ 献 菓 白岩豆店、八戸廣子
《敬称略》

今年の年男・年女は、一月初旬にコロナの感染が急拡大し始めたため、中途で受付を締め切りました。十二年に一度のことであり、希望者は清祓式を行いました。参加者は袴を着けて参列、修祓・祝詞奏上・金幣奏戴の後「豆打ちの儀」を行い、玉串奉奠をして一年間の開運招福を願いました。

コロナは全国的に感染拡大しており、今では何時・何処で感染しても不思議でないほどの状況になつてきました。

仮設舞台を組んでの豆撒き行事は、三密を避けて実施することなど出来ません。数年前より豆撒き行事に参加申し込みをされていた方もあり、実は残念な節分でした。

◇節分祭特別協賛金
関山妙子(長崎市)、千葉剛次、
(株)石橋工業、森義憲、
ヤマエ久野(株)長崎支店、森義憲、
(株)森開発、(株)森住宅、
(株)ティーエム、(株)ききつ青果、
喜々津カントリー俱楽部、
大石ボディ、(有)南部建設工業、
(株)カステラ本家福砂屋多良見工場、
(株)唐草、(株)スナックアロン、
(有)多良見碎石、(株)中村医院、
(有)徳永自動車、(有)皮ふ科、
西部ガスエネルギー(株)長崎支店、
(株)アサヒ、(有)吉野企画建設、
(株)レックセンター三根、
(有)後田塗料商事、(株)黒木建設、
アルファ印刷、(有)森商事、
慈恵病院、(株)吉川金属商事、
共栄機械工事(株)九州支店、
たか動物病院、(株)雄苑、
総合アルミ、(株)吉川金属商事、
竹迫整形外科、(株)吉川金属商事、
(有)喜々津新聞販売センター、
(株)多良見住宅、(株)小島工作所、
(有)あづま屋、(有)菅原産業、
(有)おかもと薬品、(株)山崎活魚店、
イヌオ胃腸科外科学院、(株)山下彦幸、
ききつ美容室、(株)高柳伸市、
ますだ小児科内科医院、(株)石丸昌則、
大久保クリニック、(株)犬塚勇、
西原電気商会、(株)北島勝幸、
マエダ住宅(株)、(株)大杉車輌、
以上



-紀元祭の歌齊唱-

山口眞昭
喜々津三曲会(有)森商會 森誠司
JA長崎せいひ理事 谷口謙太
郎、JA長崎せいひ喜々津支店
長 森 浩幸、北島守幸、溝上秀盛
JA長崎せいひ理事 高柳伸市、峰 輝雄、辻 秋義、
山下彦幸、高橋宏一、前山茂大、
石丸昌則、森 英敏、原口博道、
犬塚 勇、中路英憲、松尾勝藏、
北島勝幸、石場弘之、福田泰昭、
黒木康吉、坂井義則、金水勝美、
以上

③初詣と節分祭
新年恒例の樽酒の鏡割りは今年
も取り止めました。但し午前零時
より午前二時過ぎまでは、参拝者
に総代が御神酒を注いで振る舞い
ました。
午後九時まで作業を行いました。

二月十一日は神武天皇が奈良檍
原の宮に即位された記念日で、今
年は皇紀二六八二年になります。
定刻に開始された紀元祭では、
先ず宮司が先人の建国の苦労を偲
ぶとともに、皇室の弥栄と氏子崇
敬者の幸を祈念し、併せてコロナ
収束を願う祝詞が奏上されました。
次に喜々津三曲会の会員四名によ
り尺八の奉納演奏が行われました。
次に尺八の伴奏で「紀元節の歌」
を参列者全員で齊唱、最後に参列
者代表が順次玉串奏奠行い、祭典

を終了しました。
祭典終了後北島勝幸総代会長よ
り御礼の挨拶、来賓を代表して諫
早市商工会北島守幸会長が祝辞を
述べられました。
紀元祭に察し初穂料・奉納酒を
賜りました。ご芳名を記しお札を
申し上げます。
《敬称略》

◇奉納酒◇

たちばな信用金庫多良見支店長
山下 圭、十八親和銀行多良見町
支店長 今泉伸一

②竹切りと門松つくり

十二月二十日に「竹切り」二十
九日には「門松つくり」他正月の
準備作業を行いました。正月用の
テントの設営、看板の取付、鳥居
への竹・椎の木の飾り付けなどを
行いました。

恒例の「注連縄つくり」は十二月
五日に実施しました。今年も総代・
評議員・元総代他有志の多くの方
の協力をいただき、立派な注連縄
が出来ました。参加いただいた
皆様方にご慰労とお札を申し上げ
ます。

①注連縄つくり
恒例の「注連縄つくり」は十二月
五日に実施しました。今年も総代・
評議員・元総代他有志の多くの方
の協力をいただき、立派な注連縄
が出来ました。参加いただいた
皆様方にご慰労とお札を申し上げ
ます。

◇総代会の会務報告◇
令和三年度に実施した事業の概
略をお知らせします。

令和四年「歌会始」御題「窓」

御製

世界との往き來難かる世はつづき 窓開く日を偏に願ふ

皇后陛下御歌

新しき住まひとなれる吹上の 窓から望む大樹のみどり

毎年正月に行われる皇室の新年

行事「歌会始の儀」は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大を受け延期されましたが、一月十八日に皇居・正殿「松の間」でおこなわれました。今年は一四、三二二首が寄せられたとのことです。「歌会始」は皇室と国民を繋ぐ皇室行事です。参考してみませんか。

来年の歌会始詠進要項（要約）

一、お題 「友」

令和五年の歌会始のお題は「友」ですが、「友」の文字が詠み込まれていれば「友人」「学友」「友好」のような熟語にしても差し支えありません。

三、注意事項

次の場合は失格となります。

四、詠進のあて先と期間

「平成二〇〇一八一一一宮内庁」宛

場合は、代筆でも可ですが、代筆の理由及び代筆者の住所・氏名を別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

消印まで有効。

③毛筆で自書することが出来ない場合は、代筆でも可ですが、代筆とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。詠進歌は小さく折つて封入して差し支えない。九月三十日の

◆あとがき◆
コロナ禍で開催された北京冬季五輪に見入りました。若きアスリートの活躍に感激、五輪の大舞台に立つ選手の技量はさすがです▼「運も実力のうち」との譬えもありますが、実力が無ければ運も開けないようです。▼国内では藤井聰太棋士が最少年五冠を達成、長崎県では新知事が誕生しました▼三回目のワクチン接種も進み感染者数も全国的に減少しつつあるものの、終息の目処は立たないようですが▼マスクと手洗いを怠らずご自愛専一にお過しください。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首、未発表のもの。

④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。

一、奉獻酒

田嶋周作 森藤男 殿

一、鏡餅一重 中村晉 藤男 殿
二、蜜柑枝 (有)多良見碎石 石場一広 殿
境内敷設用玉砂利 德永孝次 殿

◇奉納御礼◇
年末年始に以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。